

2015年(平成27年)
12月25日
No.382
毎月2回10日/25日発行

リサイクルの通信

The Reuse Business Journal

発行所: 株式会社リフォーム産業新聞社
本社: 〒104-0061 東京都中央区銀座8-11-1
TEL:03(6252)3451 FAX:03(6252)3461
発行人: 加賀光次郎

今号の注目記事

- 16 ナチュラール古着ドロップが蚤の市
- 6 リユース探偵「リサイクル店のノベルティ」
- 5 インタビュー 大黒屋 小川浩平社長
- 3 子供服AKIRAタイに海外1号店
- 2 ブランドオフ 金沢ブランド市100回大会



「中古の学校」も設置

地金商のアプレ・ジュエラーズ(埼玉県草加市)が「東京リユース商品取引所(以下、TRCE)」を東京・御徒町にオープンした。あらゆる中古品の買取りに関するセミナーを行うアカデミーや、オークション会場、ショールームを順次稼働する。「国内外の中古取引きのハブにつかってもらいたい」と、海津社長は述べた。

アプレ・ジュエラーズ 「東京リユース商品取引所」開設 国内外バイヤーと商談

海外バイヤーに対応できるように、英語と中国語の堪能なスタッフが揃え、海外輸送までサポートする。専用ラウンジも設けており、商談に利用できる。

準会員も募集予定で、入会すればお客をショールームに連れてくることが出来る。販売すれば、売上げの4%をフィーとして取得できる。アプレは、2年かけて正会員500社、準会員2000社を集める計画だ。

カンボジアに子会社

ハードオフやブックオフのFC店を展開するありがとうサービス(愛媛県今治市)が12月14日、海外子会社を設立したと発表した。カンボジアのプノンペンに、中古品の輸入・販売事業を行う100%子会社をつくった。同国に物流拠点を置くことで、中古品の販路を拡大する。近い将来には、リユースショップの出店も可能と見ている。同社は中四国・九州・沖縄で展開しており、年商約76億円の企業。リユース事業以外に飲食店の運営なども手掛けている。

結婚指輪リフォーム販売

再婚カップルに需要
再婚時買った指輪をリフォームし、再婚時の新しい指輪に生まれ変わらせるといってもいい。同社の新品結婚指輪の人気価格は30万円前後だが、フロントの宝石部を再利用すると、3分の1以下の価格になることもあるという。



「初婚時奮発してダイヤの指輪を買ったが、新しい相手のサイズに合わなかったり、時代遅れの型だったりする。相手に知られないように、この指輪を再利用したい」という声に応えた。近年の離婚率・再婚率の上昇を鑑み、サービスとして組み込んだ。利用者は、事前に1人で来店。事情や新しい形などのカウンセリングを受ける。後日二人で改めて来店するが、スタッフは初めてのお客として接客すると言った。

「ショールームの中にリフォームしたリングを忍ばせておき、自然にそちらに誘導していきます。こっそり目配せし合いながらの接客で、緊張しますね」(関本センター長)

また研究会では、基調講演として石見銀山生活文化研究所の松場登美子氏が「ライフスタイル型業態の育て方をテーマに話した。

を貸し出し、他社オークションも招致する。一方の市場主催者の方などに、箱とヒトを貸し出す予定です。他社主催をメインに考え

ているので、3月の第一回競りは、当社以外に開催してもらってもいいです(海津社長)

1月にスタートするアカデミーでは、貴金属やブランド、お酒に加えて古着や骨董品など計13教科の講座を開始。それぞれの買取り導入セミナーを無料で提供する。

リユース事業者が集まるコミュニティをつくることで、取引数増を目指す。



「リユースの潮流を感じる」と話す中村社長

千店展開視野に 「三業態好調」

リサイクル着物ショップ「たんす屋」を130店舗運営する東京山響(東京都江戸川区)が、今後の方針として「リユース」「FCビジネス」を掲げた。

特にリユースは大きな潮流で成長見込みが高く、自社での着物買取点数はここ5年で40万点から60万点に増え、近い将来は1000万点の買い取りができるようになるだろうと話した。それを見据え、月間売上15万円、人件費ゼロ、出店コスト0円の「たんす屋mini」という業態を3~5年以内に1000店舗に増やす可能性があると言った。

また研究会では、基調講演として石見銀山生活文化研究所の松場登美子氏が「ライフスタイル型業態の育て方をテーマに話した。

HAPPY☆☆☆リサイクル NO.314 いまいずみひろみ

クリスマスツリー

おツリー飾って、栗の色をつけて飾ったの！

いいね！

でも、もっとリサイクルショップらしくしたいな！

なんかな？

不用リサイクル品を飾ってみたい！